

RPA業務自動化ソリューション

# Automation 360

## 充実した管理機能を備えたRPA\*

RPAを導入する上で悩みだったロボットの管理が可能。

自動化を全社展開するうえで必要な

あらゆる機能を備えています。 \*RPA: Robotic Process Automation



### RPAを使ってみたが、さまざまな悩みが…

#### 野良ロボットが発生

現場で作成された管理者不在のロボット(=野良ロボット)が発生し、不要な動作を起こすリスクが高まる。

#### ロボットが増えない

スモールスタートでRPAを導入したが、開発難易度が高い、スクリプトを書く必要があるなどの理由でロボットが増えない。

#### 自動化範囲が広がらない

非構造化データの処理や、人の判断が必要な業務の自動化など、RPAが苦手とする領域で自動化範囲が広がらない。

#### サーバー型の管理機能で ロボットを一元管理

開発したロボットはサーバーで一元管理するため、野良ロボットのリスクゼロを実現。ロールやログの管理など、管理者が求める機能を網羅。

#### 誰にでも使いやすい UIと機能を提供

開発インターフェースはフロー型とリスト型の両方を採用。豊富なコマンドと高度なレコーディング機能があり、ロボット作成にスクリプティングは不要。

#### あらゆる自動化を支援する 追加機能を搭載

紙業務の自動化を実現するAI-OCRや、人の判断が必要な業務の自動化を実現する機能を搭載。

グローバルで豊富な導入実績を誇るリーディングエンタープライズRPAプラットフォーム「Automation Anywhere」で自動化を実現

※ 日立ソリューションズは、Automation Anywhere, Inc.と販売代理店契約を結んでいます。



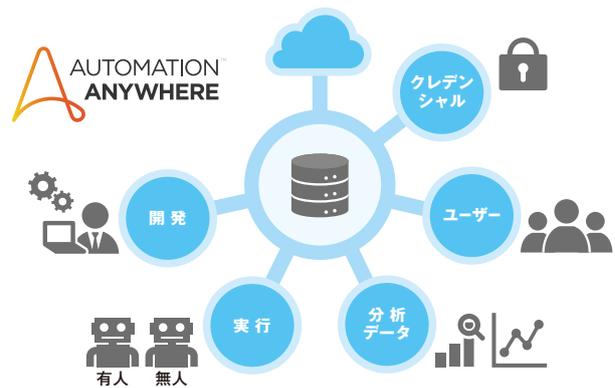
## Point 1 | 人の判断が入る業務の自動化

### サーバー型 RPAプラットフォーム

- 全社展開に必須の管理機能が充実
- ロボットを一元管理
- 規制要件を満たすセキュリティ、暗号化対策

### クラウドにも対応

- オンプレミス版・クラウド版を選択できる
- サーバレスでの導入・運用でトータルコストを削減
- クラウドのバージョンアップにより最新機能をいつでも利用可能



## Point 2 | 誰にでも使いやすいUIと機能を提供!

### 単一化されたレコーディング機能

- 対象範囲が幅広く圧倒的な解析量
- レコーダーは一つだけなので、使い分け不要

### アクションの豊富さ

- 標準アクションで多くの処理に対応  
スクリプティングは不要
- プロパティで柔軟性のある細かな設定が可能

### 【分かりやすいインターフェイス】

Two screenshots of the RPA interface are shown. The left one is 'フローチャート型' (Flowchart type) and the right one is 'リスト型' (List type). The flowchart interface has a callout box saying '見やすいビジュアルで理解しやすい' (Easy to understand with a clear visual). The list interface has a callout box saying '複雑なロボットでも開発しやすい' (Easy to develop even for complex robots). Below the screenshots, there are buttons for '切替表示' (Toggle view) and 'デュアル表示' (Dual view), with the text 'も可能!' (also possible!).

## Point 3 | あらゆる自動化を支援する追加機能を搭載

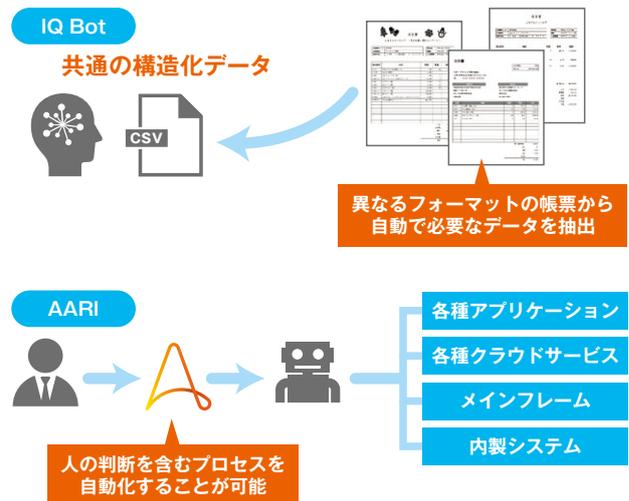
RPAとのシームレスな連携により、自動化が難しかった業務にも自動化の幅を広げることが可能

### IQ Bot

- 書式が定まっていない帳票もデータ化が可能
- 「紙業務の自動化」でさらにRPAを拡大

### AARI (Automation Anywhere Robotic Interface)

- RPAが苦手な「人の判断を含むプロセス」を自動化
- さまざまなプラットフォームから実行可能



※Automation 360, Automation Anywhereは、Automation Anywhere, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。※その他、本カタログ中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記していません。※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。※本カタログ中の情報は、カ

◎ 株式会社 日立ソリューションズ

www.hitachi-solutions.co.jp



本カタログ掲載商品・サービスの詳細情報

www.hitachi-solutions.co.jp/rpa/sp/products/automation\_360/

S17K-20-03 | 2022.03